

平成29年度
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月日: 2018/3/31
-----------------------------	------------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る	—	—	—	—	—		地域の「自然」を知り、活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用したそらの森植樹会を開催した。今年度からはこれまでの森づくりのほかに、並木づくりを始めた。 地域の「産業」を知り、活かす活動として、地域食材を活用したシーニックカフェの連携活動のほか、道の駅摩周温泉において、てしかが情報掲示板を制作し、入浴施設や飲食施設、宿泊施設などの地域情報を提供した。
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成29年4月13日、平成30年1月23日	約17名			
	—	—	—	—	—			
	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不明				
	②自然環境を知る・活かす	—	—	—	—	—		
		そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約70名			
		—	—	—	—	—		
	③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
	④温泉を知る・活かす	—	—	—	—	—		
てしかが情報掲示板での地域情報の提供		運営委員会	通年	不明				
⑤体験活動を知る・活かす	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約70名				
	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	①地場産品を知る・伝える	—	—	—	—	—		地域の「食」を知り、活かすため、5月に開催されたシーニックバイウェイ北海道@チカホ、2月に開催された摩周ウインターフェスタにおいて地域の名産品をPRする活動を行った。また、ルートの特産品のブランド化に向けた検討を行った。
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
	摩周ウインターフェスタでのPR活動(おおすすめ委員会での地場産品のPR)	シーニックカフェP 観光交流部会	平成30年2月10日～11日	不明				
	札幌駅前通 地下歩行空間でのPR活動(シーニックカフェ等が推奨するワンコインギフトを販売)	シーニックカフェP	平成29年5月27日～28日	不明				
	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成29年6月14日	約17名			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月日: 2018/3/31
-----------------------------	------------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
3)文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	—	—	—	—		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」をたんちよう釧路空港と根室中標津空港で開催した。 全国道の駅総会(弟子屈町)において、松浦武四郎の古地図を利用して、地域の紹介を行った。	
		—	—	—	—			
	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成29年7月4日～平成29年11月30日	不明				
	—	—	—	—				
1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成29年7月4日、平成29年8月26日、平成29年10月4日	約20名	A - 2	地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐車帯清掃を行い道路の美化を進めた。 物語のある道をつくる活動として、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」をたんちよう釧路空港と根室中標津空港で開催したほか、一般国道241号に面するそらの森において、植樹による並木の整備を始めた。	
		—	—	—	—			
		沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成29年6月	主催側 約1000名			
	②沿道の景観を整理・改善する。	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成29年7月4日、平成29年8月26日、平成29年10月1日	約40名	A - 2		
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
	③物語のあるみちをつくる	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成29年7月3日～平成29年11月30日	不明			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約70名			
	④地域が担い・育てる景観づくりを進める	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成29年6月	主催側 約1000名			
		駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成29年7月4日、平成29年8月26日、平成29年10月1日	約40名	A - 2		
—		—	—	—				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄					報告年月日: 2018/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成29年4月13日、平成30年1月23日	約17名		観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡れるようなスタンプラリーを実施した。 シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。 ルート上に位置する道の駅摩周温泉において、長期滞在者を含めた施設利用者に対して、手作りの情報掲示板において情報の提供した。
			—	—	—	—		
			くしろ・ねむろ ぐるっと!スタンプラリーの実施	シーニックカフェP	平成29年4月29日～平成29年10月31日	一般参加(応募者)1,218名	A - 1	
			—	—	—	—		
			てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不明		
	②既存施設の質を整える	—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不明			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万7千部		観光客が地域をドライブする際に、景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるような情報媒体を作成し、提供した。	
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月日: 2018/3/31
-----------------------------	------------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不明		<p>地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを行き、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。</p> <p>中標津町の地域FMである「FMはな」において、シーニックラジオを月に1回放送をはじめた。</p> <p>観光案内施設での情報提供として、ルート上に位置する道の駅摩周温泉において、長期滞在者を含めた施設利用者に対して、手作りの情報掲示板において情報の提供を開始した。</p>
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万7千部			
	—	—	—	—			
	—	—	—	—			
	FMはなでのシーニックラジオの放送	情報広報部会	毎月第2水曜日11時台				
	②観光案内施設等による情報提供	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万7千部		
—		—	—	—			
—		—	—	—			
—		—	—	—			
③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不明			
	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不明			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月日: 2018/3/31
-----------------------------	------------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約70名	A - 2	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施し、地域の子供たちと一緒に駐車帯の清掃活動も実施した。 そらの森の森づくりの一環として、木育活動として、地域の樹木を活用したカッティングボードづくりを行った。 ルートオリジナルグッズを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。	
		駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成29年7月4日、平成29年8月26日、平成29年10月1日	約40名			
		木育教室の開催	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約60名			
	②来訪者(観光客)へのインタープリテーション							
		ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年				
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	—	—	—	—	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を本年も実施した。 ルートオリジナルグッズを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。	
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	—	—	—	—		
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成29年10月9日	約70名		
			ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年			
			釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成29年6月14日	約17名		
	②地域経済循環の仕組みを創る	—	—	—	—	ルートの特産品のブランド化に向けた調査、検討を行った。		

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

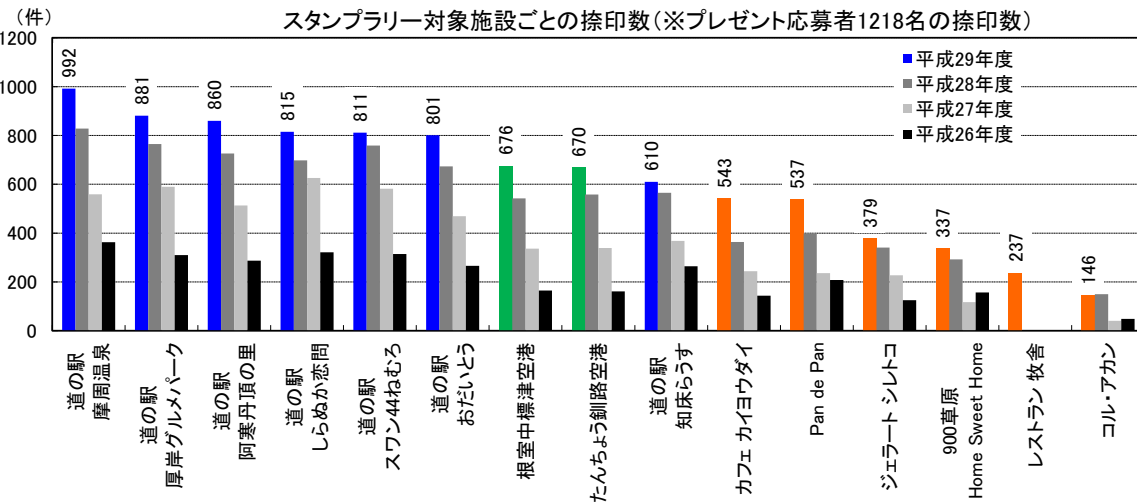
活動名：くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施

- 【概要】スタンプラリーを通じて、管内を訪れる観光客、地域住民の皆様に、ドライブ観光を楽しんで頂きながら、道の駅やシーニックカフェを巡っていただき、地域の観光振興に繋げる。
- 【日時】平成29年4月29日～平成29年10月31日
- 【場所】管内のシーニックカフェ6店舗、道の駅7箇所、たんちょう釧路空港、根室中標津空港
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】参加総数は不明（スタンプラリー 賞品への応募者数：1218名）



ぐるっと！スタンプラリーの台紙と回収BOX

	平成29年度	(前年比)	平成28年度
スタンプラリー賞品への応募者数	1,218名	(114%) 14%増	1,069名
賞品応募者の対象施設への立ち寄り総数	9,295件	(118%) 18%増	7,907件
うち、「道の駅」への立ち寄り総数	5,770件	(115%) 15%増	5,014件
うち、シーニックカフェへの立ち寄り総数	2,179件	(122%) 22%増	1,793件



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：駐車帯での景観改善活動と景観保全活動

【概要】平成26年度から、道路景観を改善するための活動としてルート内の駐車帯の清掃を開始。平成28年度からは、改善だけでなく景観を保全するための試行を開始。ゴミの量が多い駐車帯を対象として、駐車帯路側の除草などの対策によるゴミ捨て防止の効果を検証。

【場所】①R241奥春別駐車帯（弟子屈町）、②弟子屈町周辺の駐車帯、③阿寒湖畔周辺の駐車帯

【日時】平成29年07月04日：景観保全のための除草の試行(①)

平成29年08月26日：除草による景観保全効果検証(①)と景観改善（駐車帯清掃）活動(②)

平成29年10月01日：景観改善（駐車帯清掃）活動(③)

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会

【参加人数】①除草の試行:6名、②効果検証と清掃活動(弟子屈町):20名、③清掃活動(阿寒湖畔):17名



駐車帯での除草の試行



弟子屈エリアの駐車帯清掃



阿寒湖エリアの駐車帯清掃

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2018/3/30
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成29年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2) 食を知る・活かす 3) 文化や歴史を知る・活かす	そらの森 植樹会&木育教室	平成29年10月9日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会及び木育教室に、釧路開発建設部、弟子屈町から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		道東道開通PR活動でのルート紹介等パンフレット配布	通年	釧路開発建設部 釧路市	・道東道開通PRイベント等において、釧路ルートのパネル展示や開通告知パンフレット配布の際にシーニックバイウエイ関連のパンフレットを配布し、情報発信を行った。		
		懐かシーニックパネル展の開催	7月4日～11月30日	釧路開発建設部	・中標津空港ロビーにて行われた釧路開発建設部事業広報パネル展を活用し、阿寒・摩周の昭和初期の写真を展示する「懐かシーニックパネル展」を開催した。		
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2) 観光客を受け入れる環境を整える 3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4) 各種情報を伝える・蓄える	リレー清掃への参加	平成29年6月3日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。 ※H29は強風により中止	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		沿道花壇への植栽	平成29年6月	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、VSP活動の一環として花苗等を提供した。		
		沿道クリーンウォークへの参加	平成29年8月26日	釧路開発建設部 弟子屈町、北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場、北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所の各職員が参加。		
		阿寒湖清掃活動	平成29年10月1日	釧路開発建設部	・釧路市阿寒地区にて開催された阿寒湖周辺及び駐車帯清掃に釧路開発建設部職員が参加した。		
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報を発信することができた。		
		くしろ・ねむろ ぐるっと!スタンプラリーへの協力	平成29年4月29日～平成29年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。		
		道東エンジョイマップの発行・配布	年3回(夏期、秋季、冬期)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成と道の駅やレンタカー会社への配布を釧路開発建設部が行った。 ・作成に当たり、釧路市、別海町、環境省、釧路開発建設部が無償で利用できる観光地等の写真素材の提供を行った。 ・施設内で来客者向けにマップの提供を行った。		
		シーニックコーナーの設置	10月	弟子屈町	・弟子屈町と釧路開発建設部は道の駅摩周温泉内にシーニックコーナーの試験設置を行い、ポスターの設置やパンフレット配布によるPRを行った。		
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・各組織のHPヘルトHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。		
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。		
広報(パネル展の実施)	平成29年8月5日	釧路開発建設部	・「くしろ港まつり」で行われた開発局事業広報活動の「はたらくるま&郷土芸能フェスティバル」にて、事業広報パネル展と合わせてルートのパネルを設置、道東エンジョイマップ等を配布することでPRを行った。				

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成29年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップやルートマガジンを庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。		
		広報(ルート活動の広報誌掲載)	11月、1月	弟子屈町、釧路開発建設部	・弟子屈町はルートの活動(そらの森、摩周ウインターフェスタ)を広報誌に掲載することで住民へのPRを行った。 ・釧路開発建設部では部内職員に向けたルート活動のPRのため、部内広報誌に活動記事の掲載を行った。		
		広報(ルート活動の報道発表)	10月	釧路開発建設部	・「そらの森植樹祭」実施に当たり、活動PRのため報道発表および「北海道シーニックバイウエイ」トピックへの掲載を行った。		
		広報(ルート看板の国道への設置)	通年	釧路開発建設部	・ルート上の国道に「シーニックバイウエイ北海道」の看板を設置した。		
		広報(道路情報板へのシーニックマークの掲示)	9月～	釧路開発建設部	・国道上に設置している道路情報板へシーニックロゴとルート名を掲示し、ルートのPRを行った。		
		広報(行政連絡会議通信の配布及び庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・釧路開発建設部が行政連絡会議通信の作成・配布を行った。 ・庁舎内展示により、一般の利用者へルート活動情報のPRを行った。		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり <創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる 2)自然を保全・活用する仕組みを創る 3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森 植樹会&木育教室	平成29年10月9日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会及び木育教室に、釧路開発建設部、弟子屈町から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	